常時換気用

パイプ用排気ファン

トイレ・洗面所用

＜壁取付専用型＞

VF-H12E1S

MAX®

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございました。
この「取扱説明書」は販売店・工事店様が取付工事をされる説明とお客様がご使用になる時の取扱説明を兼ねています。この「取扱説明書」を大切に保管してください。

（販売店・工事店様用） 取付工事を始める前に	●この説明書を最後までお読みのうえ、正しく安全に取り付けてください。 ●取付工事は販売店様又は専門の工事店様が実施してください。
（お客様用） ご使用になる前に	●この説明書を最後までお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

※ご使用の前に、「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

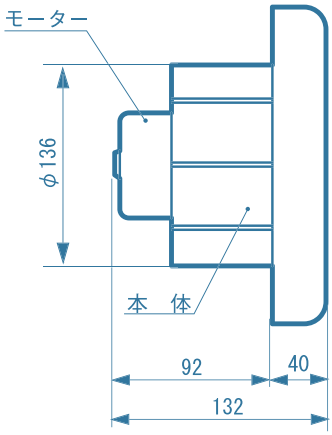
〈安全上のご注意〉

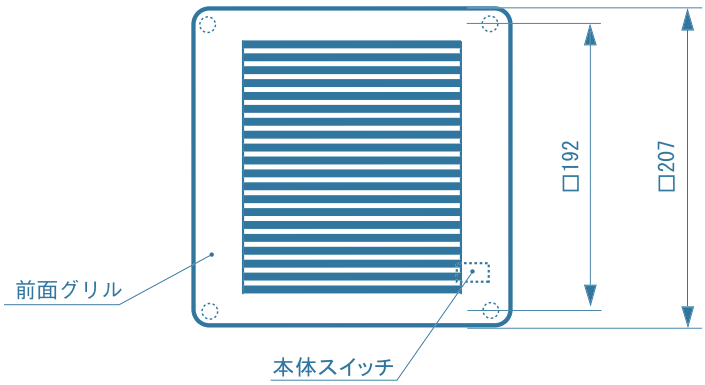
換気扇を正しく安全に取り付け, お使い頂くために、つぎのことを必ずお守りください。

⚠ 警 告	
	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してケガをすることがあります。
	ガス漏れのときは換気扇のスイッチを入・切しないでください。スイッチの火花により爆発や引火の恐れがあります。
	お手入れの際は必ずスイッチを切り、さらに電源(ブレーカースイッチ)を切ってから行ってください。また、ぬれた手でスイッチや電源の操作をしないでください。感電やケガをすることがあります。
	水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。
	浴室等湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート・感電の恐れがあります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。漏電した場合、発火することがあります。
	安全のため、必ずアースを取付けてください。感電の恐れがあります。

⚠ 注 意	
	交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	直接炎のあたる恐れのある場所には取付けないでください。火災の恐れがあります。
	電源コードがいたんだりした場合は、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
	電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。感電の原因になります。
	配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります。
	本体の取付け工事は充分強度のあるところを選んで確実に行ってください。落下によりケガをすることがあります。
	グリルの取付けは確実に行ってください。落下によりケガをすることがあります。
	本体は確実に取付けてください。落下によりケガをすることがあります。
	掃除の際、モーター・コンデンサー・スイッチ等の電気部品は水に浸したりしないでください。感電・故障の原因になります。
	運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないでください。ケガの恐れがあります。
	ご使用中に異常「回転が止まる・音が大きくなる・回転ムラ・異常な匂い」等が発生したら直ちに使用をやめてください。火災や感電の恐れがあります。

各部の名称



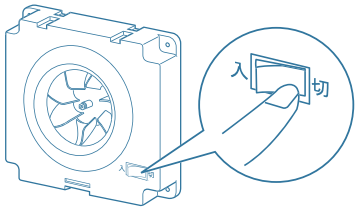


付属品
タッピングねじφ4.0×35：4本

使いかた

①壁に取付けたスイッチで「排気」、「停止」の操作をします。

②



ご注意

●24時間換気用としてご使用の場合は直接ブレーカーに接続されている場合があります。運転を停止される場合は、ブレーカーを「切」の位置にしてください。

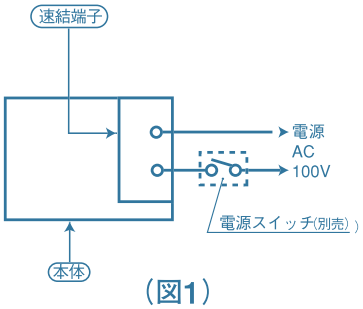
②グリルの掃除や本機を止めたい時は、本機に付いている本体のスイッチを「切」の位置にしてください。

使用上の注意

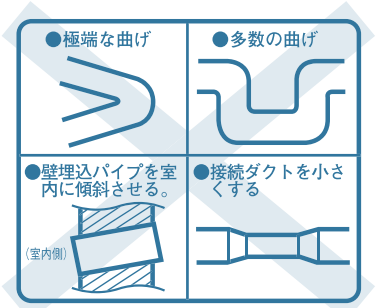
●回転中の羽根に、指やものを入れないでください。
ケガの原因となります。

取付時の注意

①壁からの距離を守ってください。グリルの取付け、取外しができなくなります。
②木枠や本体の固定が不十分ですと、振動や騒音などの原因となりますのでご注意ください。
③パイプは壁面より出さないでください。本体と壁面にすきまができると空気もれの原因となります。
④配線工事やスイッチの取付けは必ず電気工事店に依頼してください。
⑤電源は必ず正しく配線された(図1)単相100ボルトを使ってください。
⑥(図2)のような配管工事はしないでください。
⑦湿度の高い所に取付ける場合、必ずアースをしてください。
⑧コンクリートなどの壁穴には直接本体を取付けないでください。取付けが不十分になり、本体が落下する恐れがあります。
⑨メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。



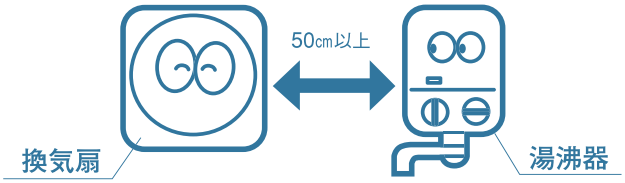
(図1)



(図2)

取付場所の選びかた

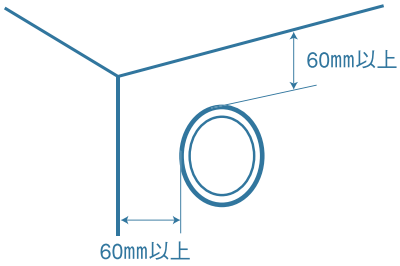
●換気扇付近の温度が40℃以上になる場所や、薬品を使う場所には取付けないでください。絶縁が悪くなり感電する恐れがあります。
●効率よく換気するため、壁に取付けてください。
●ガス湯沸器からは50cm以上離して取付けてください。



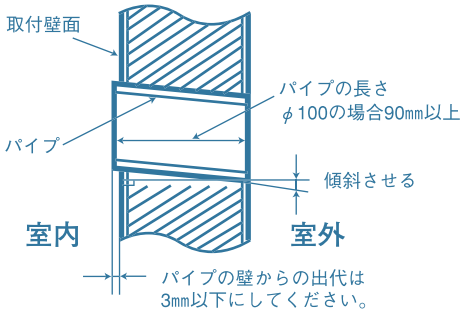
取付けかた

パイプの取付

①パイプの取付穴は壁や天井から
60㎜以上離してください。

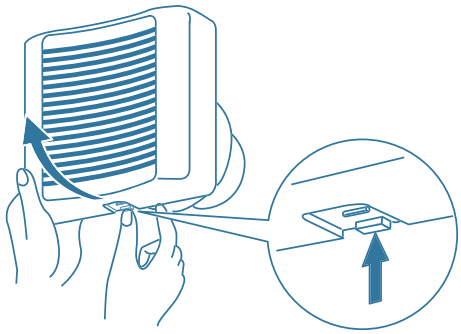


②パイプを壁に埋込む。
（パイプは必ず取付けてください。）

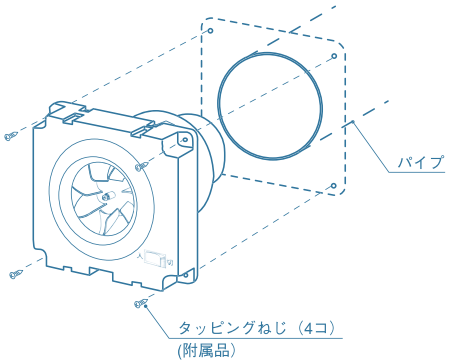


本体の取付け

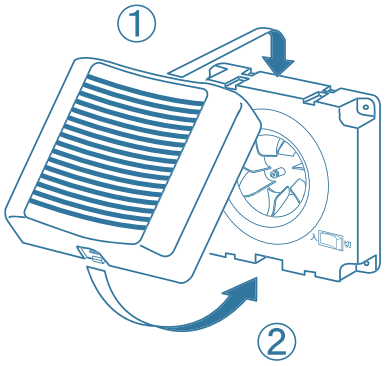
1.
グリル下部の突起を押し、下方を引きあげてグリルをはずします。



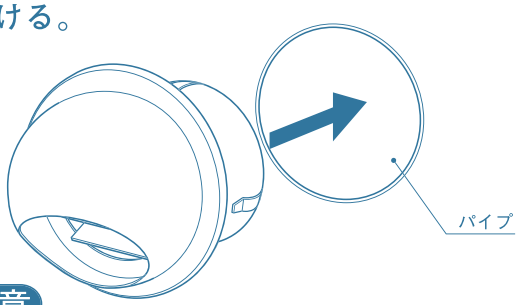
2.
本体をパイプに差込み付属のねじ（4本）で固定します。



3.
グリルの上部を本体上部にひっかけ、下部を押してはめ込みます。



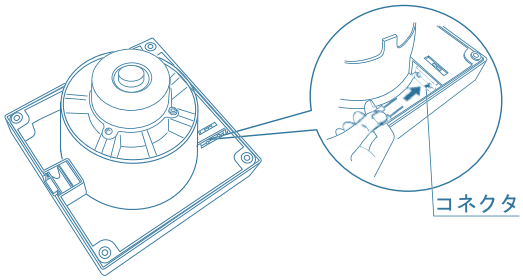
4.
外壁面には、パイプフード、ベントキャップを取付ける。

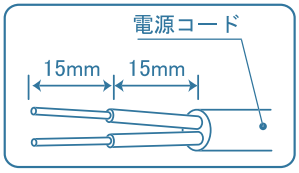


ご注意
特に薄い壁の場合、パイプフード、ベントキャップが、換気扇本体に当らないよう施工してください。
（パイプフード、ベントキャップは別売）

電源コード接続

●コネクタに電源コードの芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。





ご注意
●配線工事やスイッチの取付けは必ず工事店依頼してください。
●スイッチは必ず活線側に取付けてください。

お手入れのしかた

●お手入れをする前には必ず電源を切ってください。

グリルの掃除

●グリルをはずします。（本体の取付け1.参照）
●中性洗剤溶液に浸した布をしぼって、汚れをふきとります。その後、水でしぼった布で洗剤が残らないように十分ふきとってください。

本体の掃除

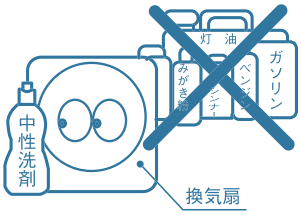
●本体は取付けたまま汚れをふきとってください。

お手入れが終わりましたら

●グリルを取付けます。（本体の取付け3.参照）
●つぎのことを確かめ異常がないか確認してください。
①グリルが確実に取付けられていること。不完全ですと落下することがあり危険です。
②運転して異常な振動や騒音がないこと。

ご注意

●モーターなどの電気部品は、水をかけないでください。
絶縁不良となり、漏電などの原因になります。また、洗剤、スプレー式クリーナーなどでの掃除はおやめください。
●お手入れは中性洗剤をご使用ください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。
●お手入れの際は、必ず厚手の手袋を着用してください。



異常が生じた時

ご注意　ご家庭での修理は危険ですのでおやめください。

●右の表に従って点検をしていただき、それでもなお異常のある場合は、事故防止のため使用を中止し、電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。

異常内容	点　検　事　項
運転しない。	●ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●本体のスイッチが「切」になっていませんか。 ●羽根に何か当っていませんか。

仕　様

性能表

品　番	電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	騒音(dB)	重量(kg)
VF-H12E1S	100	50/60	6.0/6.5	100/100	28/28	0.9

取付パイプ

（単位：mm）

品　番	取付パイプ	外　径	内　径	長　さ
VF-H12E1S	VP150	φ165	φ146	140以上
	VU150	φ165	φ154	

アフターサービスについて

サービスのお申込み

●「異常が生じた時」をご覧になり、もう一度確認してください。
●確認後も不具合な時、またはご不明な点がある場合は、自分で修理をせずにお買い求めの販売店、または弊社までご連絡ください。
なお、ご連絡の際は下記事項をお知らせください。
1. 品名：パイプ用排気ファン
2. 形式：VF-H12E1S
3. 施工年月日
4. 故障または異常の内容（できるだけ詳しくお知らせください）
5. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しくお知らせください）

修理について

●お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。
修理によって性能が維持できる場合は、有料で修理をお受けいたします。

補修用性能部品の保有期間

●補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打ち切り後６年です。
その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので
ご了承ください。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【設計上の標準使用期間】15 年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用できる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものでもありません。

■標準使用条件　JIS C 9921-2による

環境条件	電圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周波数	50/60Hz	
	温度	20℃	JIS　C9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の施工説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間 a) 台　所　2410時間/年 居　室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴　室　1671時間/年	
注記　温度20℃、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。			
注 a) 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。			

●「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- ●こげ臭いにおいがする。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　電話（　　）　－

ご購入年月日　平成　　年　　月　　日

●取扱説明書の「お客様メモ」に、購入店名、電話番号、購入年月日を記入の上、施工説明書と共に必ず保管してください。

製品についてのお問い合せは▶マックス㈱へ
0120-228-428
MAX マックス株式会社
〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
TEL 03-3669-8112 FAX 03-3669-8135